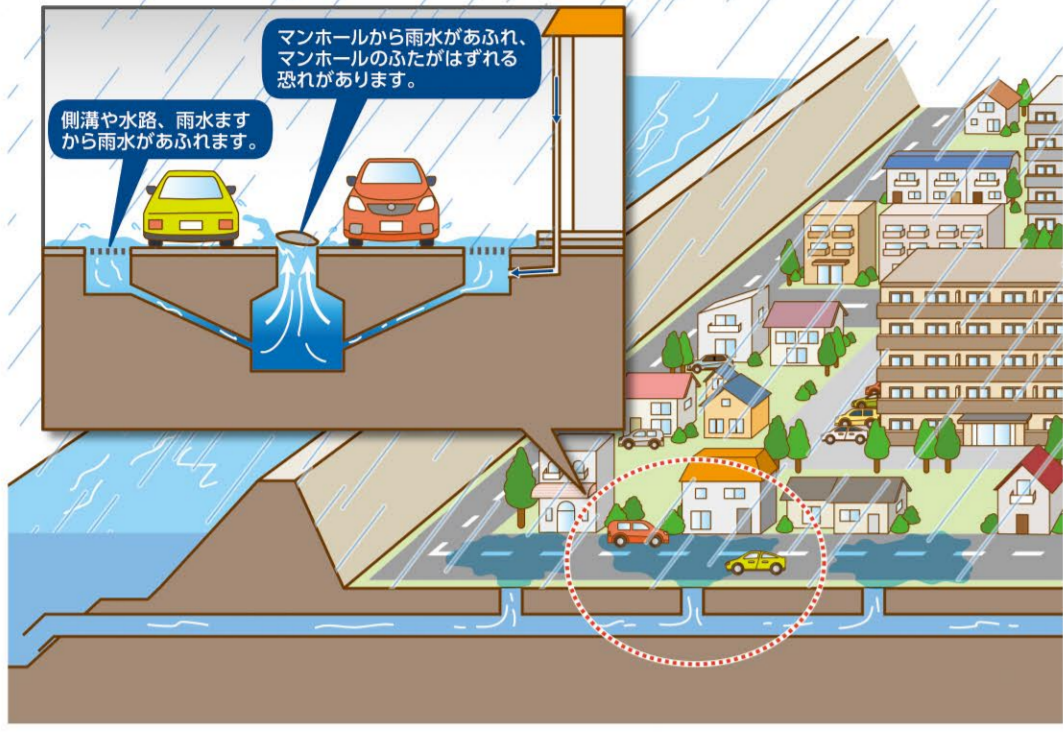


西区内水ハザードマップ

内水浸水想定区域(想定最大規模)

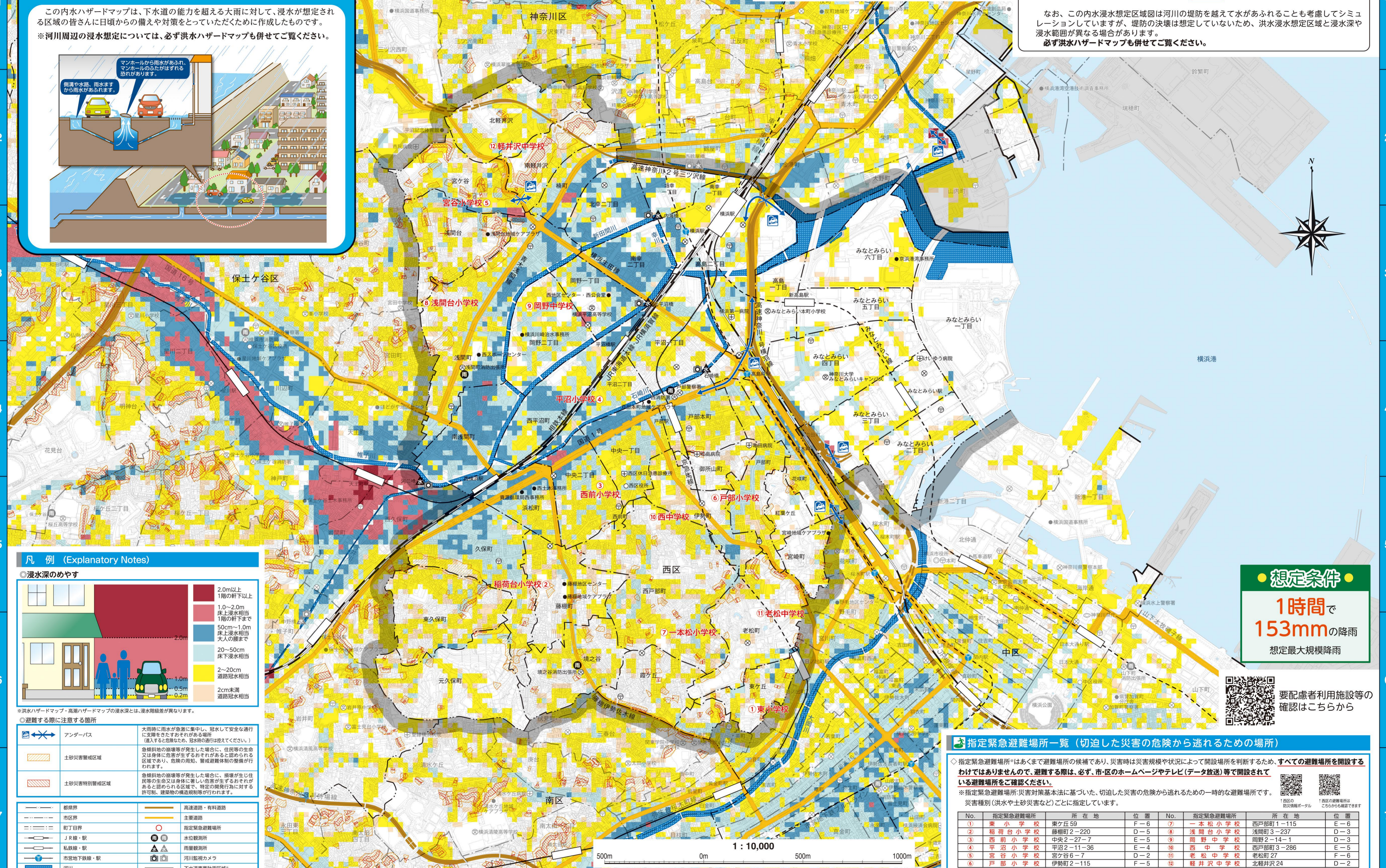
この内水ハザードマップは、下水道の能力を超える大雨に対して、浸水が想定される区域の皆さんに日頃からの備えや対策をとっていただくために作成したものです。
 ※河川周辺の浸水想定については、必ず洪水ハザードマップも併せてご覧ください。



※内水氾濫の浸水想定区域図は、平成30年度末の河川や下水道施設等の整備状況および地盤の高さを反映して、横浜市下水道河川局下水道計画課が作成したものです。
 雨の降り方によっては、浸水区域や浸水深がこの区域と異なることがあります。

出典データ	
背景図	横浜市地形図複製承認番号 令3建都計第 9024 号 横浜市建築局都市計画基本データ (地図レベル2500) により作成
内水浸水想定区域	下水道河川局 西区内水浸水想定区域 (令和3年4月)
土砂災害警戒区域	横浜市建築局 土砂災害警戒区域 (令和7年7月現在)
土砂災害特別警戒区域	横浜市建築局 土砂災害特別警戒区域 (令和7年7月現在)

内水浸水想定区域(想定最大規模)はどのように決めたの?
 この内水浸水想定区域は、想定最大規模の降雨によって、下水道や水路、道路側溝などから水があふれる範囲や深さをシミュレーションしたものです。想定最大規模降雨とは、各地方において過去に観測された最大の降雨量を基本に設定することになっており横浜市では、1999年に関東地方で観測された時間降雨量**153mm**としています。
 なお、この内水浸水想定区域図は河川の堤防を越えて水があふれることも考慮してシミュレーションしていますが、堤防の決壊は想定していないため、洪水浸水想定区域と浸水深や浸水範囲が異なる場合があります。
必ず洪水ハザードマップも併せてご覧ください。



凡例 (Explanatory Notes)

◎浸水深のめやす

	2.0m以上 1階の軒下以上
	1.0~2.0m 床上浸水相当 1階の軒下まで
	50cm~1.0m 床上浸水相当 大人の膝まで
	20~50cm 床下浸水相当
	2~20cm 道路冠水相当
	2cm未満 道路冠水相当

※洪水ハザードマップ・高潮ハザードマップの浸水深とは、浸水開始時が異なります。

◎避難する際に注意する箇所

	アンダーパス	大雨時に雨水が急激に集中し、冠水して安全な通行に支障をきたすおそれがある場所 (通行する場合は注意してください。)
	土砂災害警戒区域	急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生ずるおそれがある区域と認められる区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。
	土砂災害特別警戒区域	急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域で、特定の危険行為に対する許可制、建築物の構造規制等が行われます。

	都境界		高速道路・有料道路
	市区界		主要道路
	町目界		指定緊急避難場所
	J R線・駅		水位観測所
	私鉄線・駅		雨量観測所
	市営地下鉄線・駅		河川監視カメラ
	河川		下水道事業計画区域*

*徳海部の灰色で着色した区域については下水道事業計画区域外のため、内水浸水想定区域の対象外になります。

●想定条件●
1時間で
153mmの降雨
 想定最大規模降雨

要配慮者利用施設等の
 確認はこちらから

指定緊急避難場所一覧 (切迫した災害の危険から逃れるための場所)

指定緊急避難場所とはあくまで避難場所の候補であり、災害時は災害規模や状況によって開設場所を判断するため、**すべての避難場所を開設するわけではありませんので、避難する際は、必ず、市・区のホームページやテレビ(データ放送)等で開設されている避難場所をご確認ください。**
 ※指定緊急避難場所:災害対策基本法に基づいた、切迫した災害の危険から逃れるための一時的な避難場所です。
 災害種別(洪水や土砂災害など)ごとに指定しています。

No.	指定緊急避難場所	所在地	位置	No.	指定緊急避難場所	所在地	位置
①	東小学校	東ヶ丘59	F-6	⑦	一本松小学校	西戸部町1-115	E-6
②	稲荷台小学校	藤崎町2-220	D-5	⑧	浅間台小学校	浅間町3-237	D-3
③	西前小学校	中央2-27-7	E-5	⑨	岡野中学校	岡野2-14-1	D-3
④	平沼小学校	平沼2-11-36	E-4	⑩	西中学校	西戸部町3-286	E-5
⑤	宮谷小学校	宮ヶ谷6-7	D-2	⑪	老松中学校	老松町27	F-6
⑥	戸部小学校	伊勢町2-115	F-5	⑫	軽井沢中学校	北軽井沢24	D-2

